



2022年10月31日

各 位

会社名 中部飼料株式会社
(コード番号：2053 東証プライム・名証プレミア)
代表者名 代表取締役社長 平野 晴信
問合せ先 常務取締役管理本部長 伊藤 敏宏
(TEL：052-204-3050)

TCFD 提言への賛同表明に関するお知らせ

当社は、このたび「気候関連財務情報開示タスクフォース（以下、TCFD※）」提言への賛同を表明いたしましたので、お知らせいたします。



※TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

G20 の要請を受けて 2015 年に金融安定理事会 (FSB) が設立。企業に対して、気候変動に伴うリスク及び機会と「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」について開示することを推奨しています。(TCFD ウェブサイト：<https://www.fsb-tcfd.org/>)

当社グループの主要な事業である飼料事業は、鶏・豚・牛・魚の配合飼料の製造販売を行っております。原料である穀物を世界各国から輸入し、国内の工場で製造された配合飼料を国内の畜産家や養殖家に販売しております。原料の多くが自然の恵みである農産物であり、鶏・豚・牛・魚も自然の影響を受けることが多いため、環境を守ることが事業継続に不可欠と考えております。

そのため、当社グループは気候変動を重要な経営課題であるという認識のもと、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。今回の賛同表明を踏まえ、気候変動が与える影響を的確に把握するとともに、TCFD の提言に基づいた検討及び情報開示を進めてまいります。

なお、当社グループは温室効果ガスの削減について、本年6月に以下のとおり指標と目標を設定いたしました。

- ◇ 指標：当社グループ（国内）の温室効果ガス排出量（Scope 1 + 2）
 - ◇ 目標：2030 年度に 2020 年度比 30%削減
- ※Scope 3については、仕入先・顧客とともに具体的な取組みを推進してまいります。

2021 年度の削減実績は、2020 年度比 2.5%となりました。今後も省エネ設備や太陽光発電の導入、燃料転換、再エネ電力の調達等により、温室効果ガスの削減に取り組んでまいります。

< 温室効果ガス排出量 >

(単位 : t-CO₂)

	2020 年度	2021 年度
Scope 1	26,897	25,950
Scope 2	30,135	29,659
温室効果ガス排出量 (Scope1+2)	57,032	55,609
対 2020 年度削減比	---	△2.5%
Scope 3	1,121,014	1,188,863

Scope 1 : 自社の直接排出量

Scope 2 : 他社から供給された電気・蒸気などの使用に伴う間接排出量

Scope 3 : Scope 1・2 以外の間接排出量 (自社の活動に関連する他社の排出量)

以 上